

第23回

高知県文化環境功労者表彰

事 績 概 要

高 知 県

<文化の振興>

(越知町)

おのけんぞう
小野憲三氏

(主な略歴)

昭和 38 年～平成 10 年	越知町職員
昭和 39 年～	日本将棋連盟高吾支部長
平成 10 年～平成 18 年	越知町収入役
平成 3 年～平成 10 年	日本アマチュア将棋連盟四国ブロック理事
平成 26 年～	日本将棋連盟県連合支部副会長

(功 績)

昭和 39 年から現在まで日本将棋連盟高吾支部長を務め、県内アマチュア将棋界の頂点を決める南海王将ではタイトルを通算 11 期獲得し、長く本県の将棋界を牽引してきた。

また、高知大学医学部将棋部で講師として学生を指導し、その後も越知町文化推進協議会内で子ども将棋教室や将棋サークル活動を行うなど後進の育成にも尽力しており、文化の振興に貢献している。

<文化財の保護>

(香美市)

ものべ 物部いざなぎ流^{りゅう}神楽^{かぐら}保存会^{ほぞんかい}

(主な略歴)

昭和 54 年	「物部いざなぎ流御祈祷保存会」設立
昭和 55 年	国指定重要無形民俗文化財に指定される
昭和 57 年	「物部いざなぎ流神楽保存会」に改める
平成 14 年 10 月	アメリカのジャパン・ソサエティ・ギャラリーにていざなぎ流の御幣紹介

(功 績)

昭和 54 年の設立以来、いざなぎ流御祈祷及び舞神楽の保全・伝承活動を進めており、その活動は海外にも及び、アメリカのジャパン・ソサエティ・ギャラリーにていざなぎ流の「御幣」を紹介し、好評を博すなど、その普及に努めた。

また、地元小中学校の生徒に舞神楽と太鼓を伝承する活動にも取り組むなど、次世代への継承活動も積極的に行っており、文化財の保護に貢献している。

<国際交流の推進>

(高知市)

GENKI せいねんかい 青年会

(主な略歴)

平成 8 年	GENKI 青年会発足
	第1回土佐弁ミュージカル開催
平成 13 年～	海外留学助成金制度開始
平成 17 年	国際交流基金地球市民賞受賞
平成 30 年	日本善行会春季善行表彰受賞

(功 績)

平成8年の設立以来、毎年「土佐弁ミュージカル」を開催し、草の根の国際交流を深めるとともに、土佐弁や高知文化のすばらしさを認識・発信する機会を作ってきた。

また、平成13年からは、海外留学を希望する県内の中高大学生のための募金助成活動にも取り組み、次世代の国際リーダー育成に努めるなど国際交流の推進に貢献している。

<国際交流の推進>

(高知市)

ガーナよさこい^{しえんかい}支援会

(主な略歴)

平成 14 年～

ガーナよさこい支援会発足

「ガーナでよさこい祭り」の開催支援

平成 15 年～

ガーナ高校生の日本研修旅行の支援

平成 26 年～

日本高校生のガーナ研修旅行の支援

(功 績)

平成 14 年の発足以来、毎年ガーナの首都アクラでは「ガーナでよさこい祭り」が開催され、祭りへの鳴子や法被の寄贈や応援ツアーの実施、東京の原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへのガーナチーム出場支援を行ってきた。

また、両国の高校生の研修旅行の支援も行い、それぞれの国の文化体験等を行うことにより交流を深めるなど、国際交流の推進に貢献している。

<環境の保全>

(高知市)

まえかわ えい じ
前 川 穎 司 氏

(主な略歴)

昭和 38 年～平成 4 年	株式会社高知前川種苗専務
平成 4 年～平成 17 年	株式会社高知前川種苗社長
平成 17 年～	株式会社高知前川種苗会長
平成 19 年～	日本棋院高知県支部長

(功 績)

榧の木を種から苗木に育てる研究を重ねるとともに、人の手がかけられなくなった荒れた土地を一から整備してきた。

およそ 30 年間で榧の木の苗木を高知の山々に約 30 万本植え続けてきたことは本県の環境の保全に貢献している。

<環境の保全>

(香南市)

さんれい もり かい 三嶺の森をまもるみんなの会

(主な略歴)

平成 19 年～

三嶺の森をまもるみんなの会発足

ボランティアによる保全・再生活動開始

平成 29 年

発足 10 周年記念誌「シカ食害で痛む 三嶺の森ー再生への途と課題」第 37 回寺田寅彦記念賞受賞

(功 績)

平成 19 年の発足以来、シカの食害で自然植生が喪失した三嶺山域の保護と再生を目的に森林保全・再生活動を続けてきた。

主な活動として、ボランティアによる植生保護のための防鹿柵等の設置や、物部川流域の学校等を中心とした環境教育活動、住民向けのシンポジウム開催を行い、その結果、山域の一部では自然植生が回復するなど本県の環境保全に貢献している。

< 県民生活の向上 >

(高知市)

こうち
高知ライオンズクラブ

(主な略歴)

昭和 31 年

高知ライオンズクラブ発足

昭和 31 年～平成 29 年

高知県視覚障害者協会に対して白杖等贈呈

(功 績)

昭和 31 年の発足以来、道路交通法により携帯が義務付けられている白杖等の寄贈を続けてきたことは、県内の視覚障害者の安全確保に大きく寄与し、県民生活の向上に貢献している。